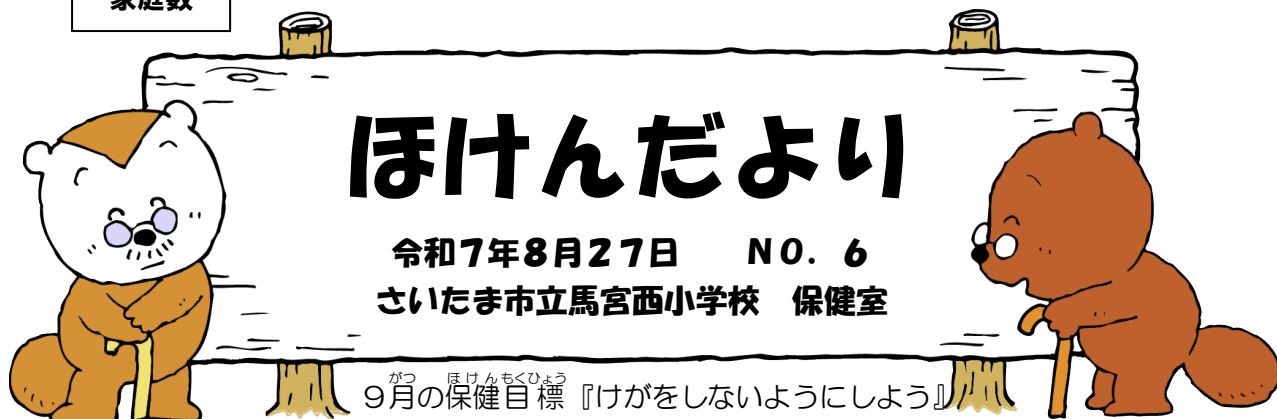




長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期のスタートです。楽しい夏休みを過ごせましたか？ぜひ、夏休みの出来事を教えてください！

自由な時間がたくさんあった夏休みから、学校モードへ切り替えるのは大変ですね。

暑さもまだまだ続きそうです。熱中症対策をしながら、元気に過ごしていきましょう！



抜け出せ！夏休みモード



自分でできるけがの手当

すりきず



はなち



つきゆび



学校以外の場所でけがをした時にもできるので、覚えておくといいですね！

どこにある？ AED



心臓が止まってしまった人の心臓を正常な状態に戻すための機器。電源を入れると自動で使い方を教えてくれるので、誰でも安全に使えます。



馬宮西小では、保健室の校庭側のドア近くの棚の上にあります！



重要！

AEDの使い方

心臓が止まった人に何もしなかった場合と比べて、胸骨圧迫（心臓マッサージ）をした場合、命を助けられる確率が2倍近く高くなります。さらにAEDを使用した場合は、約半数の人を救えるという調査結果が出ています。AEDの使い方を知っておきましょう。

① 電源を入れる

（ふたを開けただけで電源が入るものもあります）

② 電極パッドを胸に貼る

③ 心電図の解析を待つ

（電極パッドを貼ると自動的に始まります）

④ 電気ショック

- 電気ショックの指示が出たら近くに人がいないことを確認し電気ショックのボタンを押す（自動で行うAEDもあります）。ショック後すぐに胸骨圧迫を再開する
- 電気ショックが不要の場合、胸骨圧迫を再開する

⑤ 胸骨圧迫とAEDをくり返す

（2分ごとに電気ショックが必要かどうか自動で解析します）

